

座長挨拶

【 第6回北陸地域連携プラットフォーム 平成27年3月3日(火) 】

開会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

第5回北陸地域連携プラットフォームが1月20日(火)に開催されたところですが、早速第6回が本日行われることとなりました。

今回は、牧野鯖江市長から『「鯖江から国を変える」～住みたくなる、住み続けたい町、鯖江の創造～』と題した地域における取組みを、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局菊地次長から『地方創生に向けた施策等について』と題した国における施策のお話を伺い、意見交換を行ったところです。

去る2月22日(日)に小松市において内閣官房まち・ひと・しごと創生本部主催の地域創生フォーラムが開催されました。当日の配布資料の一部をお手元にお配りしておりますが、基調講演をされた伊藤達也内閣府大臣補佐官からは、「地域の皆さんの知恵や行動が更に必要となる」とのお話がありました。また、事例紹介を行った方々からは、「地方の特色をきっちりと打ち出すことが評価につながる」、「国の施策と方向性を合わせる事が重要」等のご意見がありました。

こうした点も踏まえ、今回は、日本政策投資銀行の友定経営企画部担当部長から、金融を切り口としたアプローチとして、『「地方創生」に関する地域金融機関と日本政策投資銀行との連携について』と題し基調講演をいただき、その後意見交換を予定しております。

「地方創生の基本スタンスと金融機関の関与の考え方(総論)」とある資料をお手元にお配りしておりますが、国の総合戦略でも、金融機関の関与が注目されておりますので、積極的・活発な意見交換をお願いします。

以上